学籍番号 □□□□□□ 名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （制限時間:20 分｜合格点 80 点以上）

簿記ＩＡ：確認テスト	補助教材作成審議委員会 教材部 商業科部会	
1	【再試験】簿記の意義と仕組み・仕訳と転記	点

問1 （ ３点@３カ所＝９点 ）

次の 1 ～ 3 までの単語を補充せよ。ただし、 3 は「できる」・「できない」から一つ選んで書け。

会計期間の初めを 1 、会計期間の終わりを 2 という。
会社は自由に会計期間を設定することが 3 。

1		2		3	

問2 （ ３点@９カ所＝２７点 ）

次の①～⑥の（　　）を補充せよ。

① 会社の財政状態を表す財務諸表を（　　）という
② 会社の経営成績を表す財務諸表を（　　）という
③ 期中において配当や増資を行っていない場合、期末の純資産から期首の純資産を引いた金額は（　　）である
④ 貸借対照表に記載されるのは（ ア ）、（ イ ）、（ ウ ）である（※順不同）
⑤ 損益計算書に記載されるのは（ ア ）、（ イ ）である（※順不同）
⑥ 収益から費用を引いた差額は（　　）である

①		②		③	
④ア		④イ		④ウ	
⑤ア		⑤イ		⑥	

問3 （ ２点@１２カ所＝２４点 ）

次の勘定科目が、簿記上の５要素（資産・負債・純資産・費用・収益）のいずれに分類されるか判断せよ。
ただし、資産に該当する場合には「A」、負債に該当する場合には「B」、純資産に該当する場合には「C」、費用に該当する場合には「D」、収益に該当する場合には「E」を、それぞれ解答欄に記入せよ。

1. 資本金	2. 現金	3. 雑益	4. 当座預金
5. 減価償却費	6. 買掛金	7. 借入金	8. 繰越利益剰余金
9. 受取手形	10. 備品	11. 売上	12. 仕入

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

学籍番号 □□□□□□ 名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（制限時間:20 分｜合格点 80 点以上）

問４　（ ４点@１０カ所＝４０点 ）

次の取引の仕訳を示せ。ただし、仕訳がない場合には、該当問題の借方に「仕訳無し」と書くこと。なお、商品の仕訳は三分法によるものとする。

① Ａ不動産会社と時価総額￥1,000,000 の土地の貸借契約を書面上で締結し、前払金として時価総額の 10%を現金で支払った。

② Ｂ株式会社に対して自社の商品を￥75,000 で販売し、代金は掛けとした。

③ Ｃ株式会社より、備品￥200,000 を購入し、代金は普通預金で支払った。

④ Ｄ株式会社に現金￥100,000 の現金の貸し付けを当社の当座預金からの振り込みにより行った。

⑤ 事務利用を目的として、ボールペンなど消耗品￥3,000 を現金で支払い購入した。

⑥ Ｅ株式会社とＦ株式会社の売買を仲介し、手数料として￥2,500 を現金で受け取った。

⑦ 本社での防災対策として、有名講師を招いて防災意識を高めるセミナーを開催した。

⑧ Ｇ株式会社から￥30,000 の商品を購入し、代金は掛けとした。

⑨ 当社の従業員に対して、２か月分の給料￥600,000 のうち、１か月分を当座預金より支払った。

⑩ 電気、ガスなどの水道光熱費￥100,000 が普通預金から引き落とされた。

問	借　　方	金　　額	貸　　方	金　　額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				